

2026年2月16日

日本株

 りそなホールディングス 市場企画部  
 ストラテジスト 武居 大暉、渋谷 和樹

## 日米欧 Market View: 日本株需給(2/2~2/6)と Weekly データ集

### 海外は3週ぶりの買越し(現先合計)

#### 要約

- ▶ 主体別売買動向によると、2/2~2/6にかけて海外は現先合計で約9,400億円の買越し(3週ぶり)。個人は約4,400億円の売越し(3週ぶり)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は約3,800億円の売越し(5週連続)。企業の自社株買いを反映する事法は約3,900億円の買越し(19週連続)(図表1)。GPIFによる日本株の売り余地は約4.6兆円と推計
- ▶ 海外勢は日本株に対して楽観的スタンス。ただし、短期筋の利益確定売りが上値を抑える可能性に留意。日本株は高値圏で推移しているが、将来のファンダメンタルズや資本効率性の改善を考慮すると、大幅調整のリスクは小さいとみている。今後1週間程度の日経平均株価の想定レンジは55,000円~60,000円
- ▶ 事業法人の高水準の自社株買いが継続。足元でも依然として1兆円~2兆円程度の買い余地があらう

### 海外は3週ぶりの買越し(現先合計)

主体別売買動向によると、2/2~2/6にかけて海外は現先合計で約9,400億円の買越し(3週ぶり)。個人は約4,400億円の売越し(3週ぶり)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は約3,800億円の売越し(5週連続)。企業の自社株買いを反映する事法は約3,900億円の買越し(19週連続)(図表1)。GPIFによる日本株の売り余地は約4.6兆円と推計(図表1)。

同期間のTOPIXは上昇した。週明け月曜日は、為替の円安進行や衆院選に対する思惑などから大きく上昇して始まったが、米FRB新議長にタカ派寄りとみられるウォーシュ氏が指名されたことなどが警戒され、金など貴金属の暴落に連れる形で売り圧力が強まり、引けにかけてはマイナス圏に沈んだ。翌火曜日は、衆院選で与党が大きく議席を伸ばす可能性が改めて意識され、政策期待から半導体関連株などを中心に買いが優勢となって指数全体は急反発した。その後週末にかけては、米株が生成AI関連を中心に調整するなかでも、日本株は好決算の個別株を物色する動きもあってじり高傾向が続き、また、次第に衆院選での与党の勝利を見込んだ買いが大きくなった。

海外勢は、衆院選での与党大勝情勢調査を受け、政治基盤安定化による高市政権の政策進展期待から特に先物で日本株を買越した。一方、逆張り志向の強い個人は、相場が上昇したタイミングで利益確定売りが優勢となった。事業法人は、大規模な自社株買いの動きが継続し、相場を下支えた。

足元の投資家センチメントを確認すると、信用倍率(2/6申し込み現在)は5.8倍と前週比低下(図表2)。信用買いは横ばい、信用売りは増加となり、悲観的な見方が強まった。また、2/13時点の空売り比率(20日MA)は37.6%と前週比低下となった。日本株が最高値圏にあることに加え、ボラタイルな貴金属市場、米ハイテク株の調整等を受け日経VIは34.2と高水準であり、マーケット参加者は悲観的な見方を強めている。今後は春節期間と重なること等からマーケットは薄商いとなり、利益確定売り優勢となる可能性に留意したい。今後1週間程度の日経平均株価の想定レンジは55,000円~60,000円。

#### ◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



図表 1：主体別売買動向

単位：10億円	先物(海外)			現物						指数 TOPIX (pt)
	合計	TOPIX型	日経型	海外	個人	法人				
						投資信託	事法	金融機関		
							生損保+銀行	信託		
2026/1/10	-222.9	-323.5	98.8	1,224.7	-542.8	-29.7	168.6	-63.2	-7.8	3,514.1
2026/1/17	81.6	270.5	-188.1	780.4	-662.8	-45.6	81.7	-176.5	-246.0	3,658.7
2026/1/24	-748.5	-411.0	-344.7	192.2	479.2	130.7	175.7	-163.8	-424.9	3,629.7
2026/1/31	-779.3	-528.3	-251.7	159.9	834.9	-91.8	319.0	-129.1	-289.9	3,566.3
2026/2/7	666.7	619.5	48.9	274.6	-440.3	-51.3	393.0	-119.9	-378.9	3,699.0

■ GPIFの保有国内株式割合を仮に25%にするとした場合に必要な売買額の推計

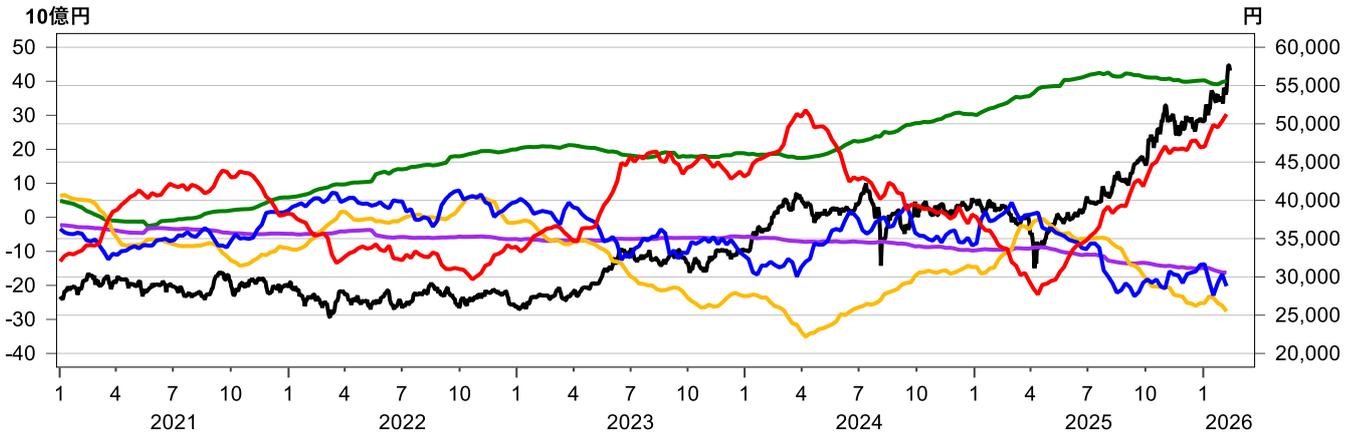
	2026/02/16 時点の必要な売買額	25年12月末以降の信託銀行 の累積売買金額	差し引き
保有国内株式割合を仮に25%にする とした場合に必要な売買額の推計	-5.91 兆円	-1.33 兆円	-4.58 兆円

出所：QUICK, Bloomberg

図表 2：株式需給の重要指標まとめ

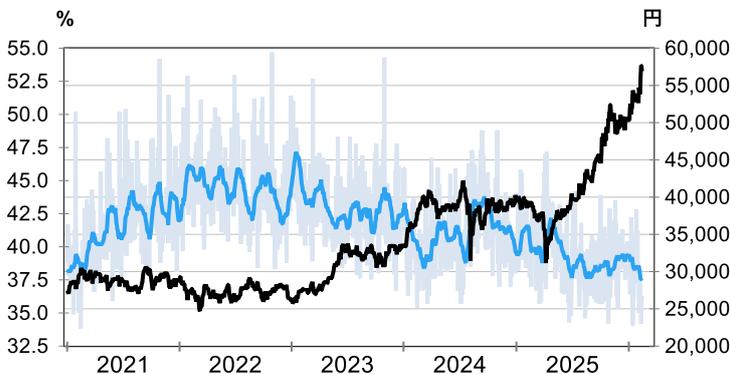
主体別売買動向(12ヵ月移動平均)

— 海外 — 個人 — 信託 — 生保+銀行 — 事法 — 日経平均株価(右軸)



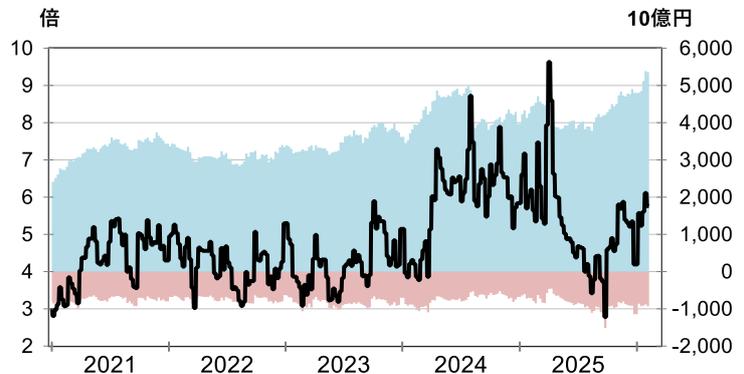
日経平均株価と空売り比率

— 日経平均株価(右軸) — 空売り比率(20日移動平均) — 空売り比率



信用残高と信用倍率

— 信用倍率(信用買残/信用売残) — 信用売残(右軸) — 信用買残(右軸)



出所：Bloomberg, マクロポンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

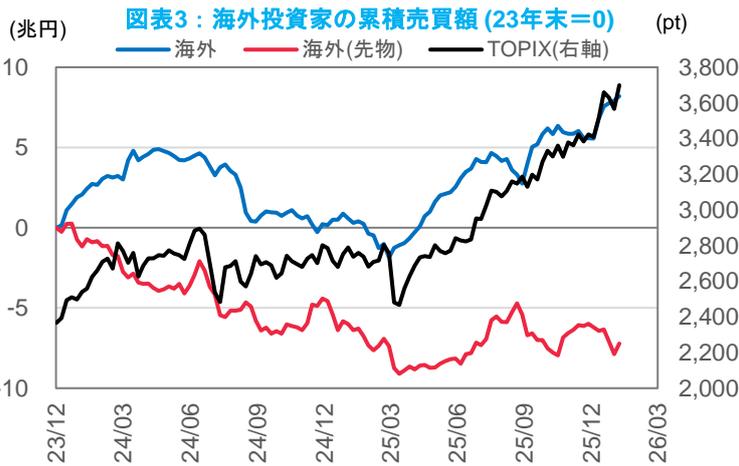


海外投資家動向:短期筋の日本株ポジションは縮小傾向。日本株の調整リスクに留意

短期筋の動向を示す先物については、年初来売り越し傾向であったため、高市総理率いる与党の大勝を受け、大きく買い戻しが進んだとみられる。もっとも昨年秋口以降は、累積売買額が横ばい圏で推移しているため、日本株が高値圏にある状況下では利益確定売りに転じ、上値を抑える可能性に留意したい。

中期的には、現物の買越し基調が維持されるかどうかが重要である。海外投資家の現物累積売買額(52週平均)は、概ね TOPIX のリスクプレミアムと連動する(図表 4)。高市総理の成長戦略や長期政権となることへの期待から、日本株の買越し基調が継続すれば、TOPIX のリスクプレミアムが 3%pt 程度まで低下する可能性もある。この場合、TOPIX の PER は 19 倍程度まで上昇し、日経平均株価換算で 60,000 円程度となる。短期的な上値目途として意識したい。

なお、TOPIX の EPS と NT 倍率を使って日経平均株価のバリュエーションを判断すると、NT 倍率 15 倍の時に、ファンダメンタルズに基づく理論値は 52,500 円～55,500 円程度である。足元の株価はこのレンジの範囲外であるが、来期以降の増益や資本効率性の改善を考慮すると、26 年末までに妥当レンジは 60,000 円～64,000 円程度まで上方修正されるとみており、過度な懸念は不要と考えている。



出所: QUICK



出所: QUICK

図表 6: TOPIX の PER 理論値

		リスク・プレミアム							
		2.8%pt	3.0%pt	3.2%pt	現状 3.4%pt	3.6%pt	3.8%pt	4.0%pt	
円 10 年 金 利	+40bps	2.61%	18.5	17.8	17.2	16.7	16.1	15.6	15.1
	+30bps	2.51%	18.9	18.2	17.5	16.9	16.4	15.9	15.4
	+20bps	2.41%	19.2	18.5	17.8	17.2	16.7	16.1	15.6
	+10bps	2.31%	19.6	18.9	18.2	17.5	16.9	16.4	15.9
	現状	2.21%	20.0	19.2	18.5	17.8	17.2	16.7	16.1
	-10bps	2.11%	20.4	19.6	18.9	18.2	17.5	16.9	16.4
	-20bps	2.01%	20.8	20.0	19.2	18.5	17.8	17.2	16.7
	-30bps	1.91%	21.3	20.4	19.6	18.9	18.2	17.5	16.9
	-40bps	1.81%	21.7	20.8	20.0	19.2	18.5	17.8	17.2

出所: Bloomberg

図表 6: 日経平均株価バリュエーションマトリクス

		予想PER(TOPIX)							
		16.5倍	17.0倍	17.5倍	現状 17.8倍	18.0倍	18.5倍	19.0倍	
予想 EPS ( TOPIX )	10.0%	233.8	57,800	59,600	61,300	62,500	63,100	64,800	66,600
	7.0%	227.4	56,200	57,900	59,600	60,800	61,300	63,000	64,700
	5.0%	223.2	55,200	56,800	58,500	59,700	60,200	61,900	63,500
	3.0%	218.9	54,100	55,800	57,400	58,500	59,000	60,700	62,300
	1.0%	214.7	53,100	54,700	56,300	57,400	57,900	59,500	61,100
	現状	212.5	52,500	54,100	55,700	56,800	57,300	58,900	60,500
	-1.0%	210.4	52,000	53,600	55,200	56,300	56,800	58,300	59,900
	-3.0%	206.2	51,000	52,500	54,100	55,100	55,600	57,100	58,700

出所: Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



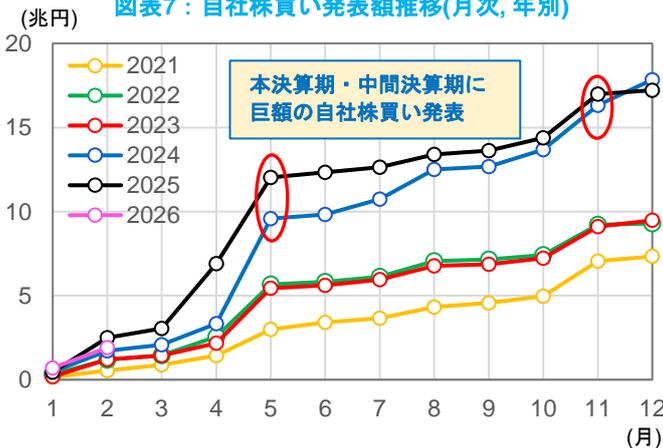
## 自社株買い動向: 自社株買い余地は1兆円~2兆円程度と推計

自社株買い発表額は過去最高水準(図表7~8)。26年1月末までの累計自社株買い発表額は、前年同月比で約55%増加。10-12月期決算は、日米の関税交渉進展、AIブームの持続、建設業を中心とする良好な内需環境等を受け、これまでに決算発表したTOPIX採用企業の売上高は前年比+3.7%、純利益は前年比+1.9%となった。不確実性が後退し、持続的な成長シナリオの実現性が高まったことで、各社の株主還元が一層拡充される可能性があり注目している。

自社株買い余力(=発表額-実施額)は、依然として1兆円~2兆円程度であると推計される。株価下落局面で一定の株価下支えが期待できるが(実際、相場が不安定となった2024年9月や11月は、例年になく規模での自社株買いが実施された(図表9))、徐々にその余地は縮小してきている点には留意。

図表10は、自己株式取得額別の株価リターンである。東証からPBR改善要請のあった2023年3月以降のリターンを示している。第一分位は、日経平均株価採用銘柄のうち、上位20%が含まれるが、リターンが最も良好である。2025年4月初旬に株価が急落した際には、総合商社大手が自社株買いを発表し、逆行高となった。株主価値創出手段、あるいは、株価が割安であることを市場へアピールする手段としての自社株買いは、グローバルに事業を展開する大企業を中心に増えていく公算が大きい。引き続き、自社株買いに注目したい。

図表7: 自社株買い発表額推移(月次、年別)



出所: QUICK

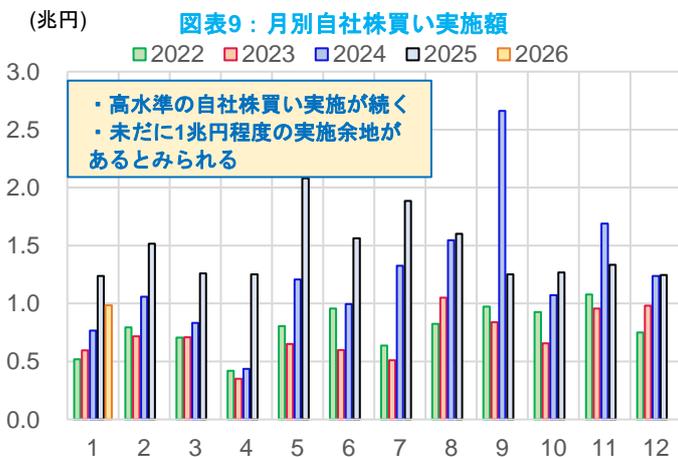
図表8: 自社株買い余力の推計



出所: QUICK

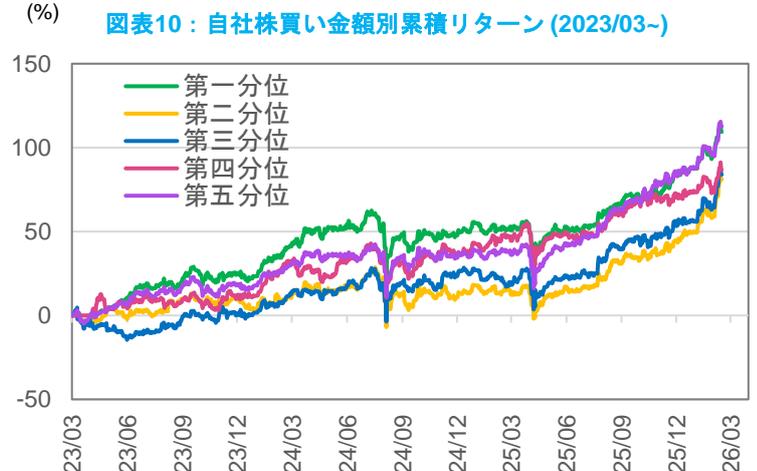
注: 自社株買い余力は、「発表額の12ヵ月合計-実施額の12ヵ月合計」

図表9: 月別自社株買い実施額



注: QUICK

図表10: 自社株買い金額別累積リターン(2023/03~)



注: 第一分位は自社株買い金額上位20%、第五分位は下位20%

出所: Bloomberg

◎注意事項

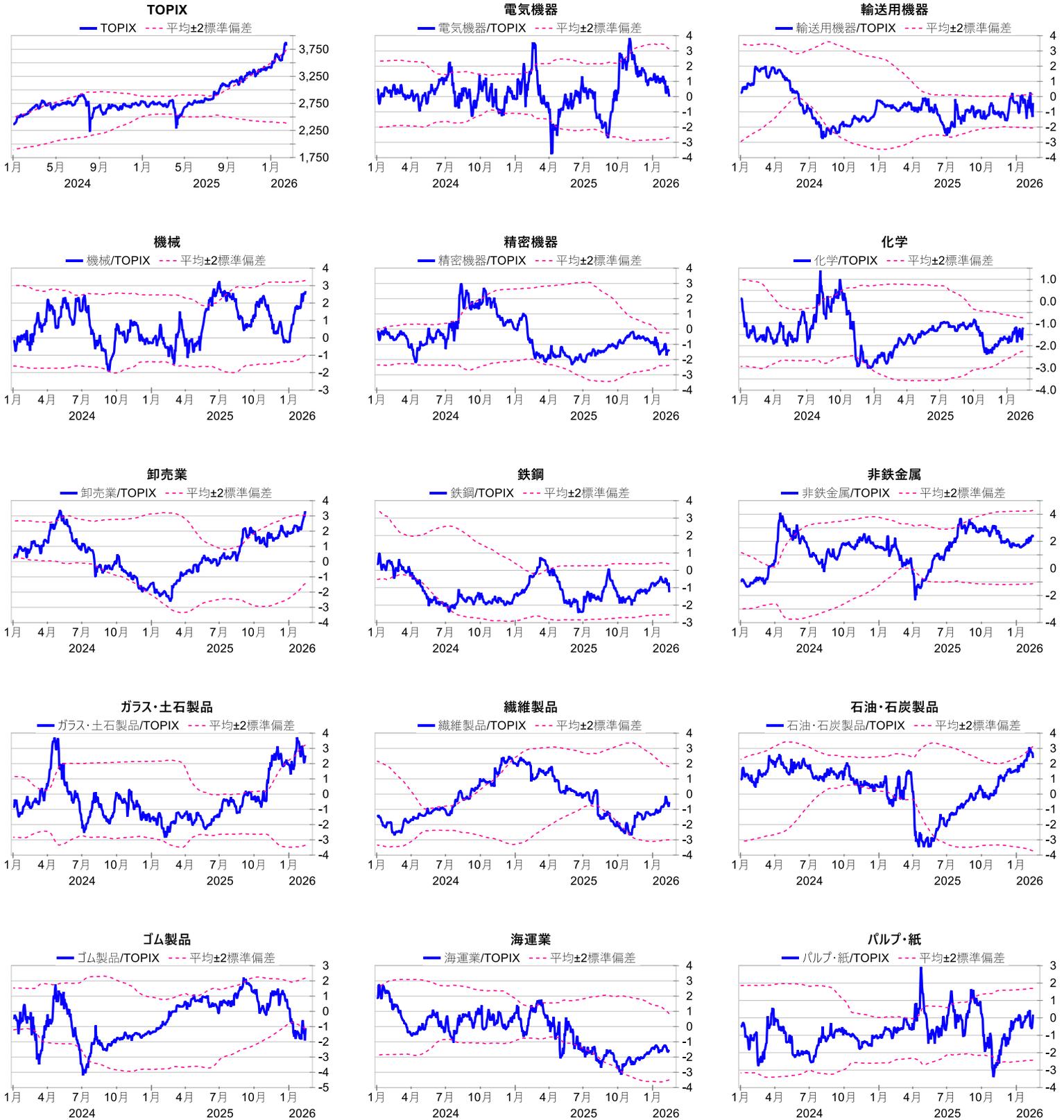
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



株式市場データ集

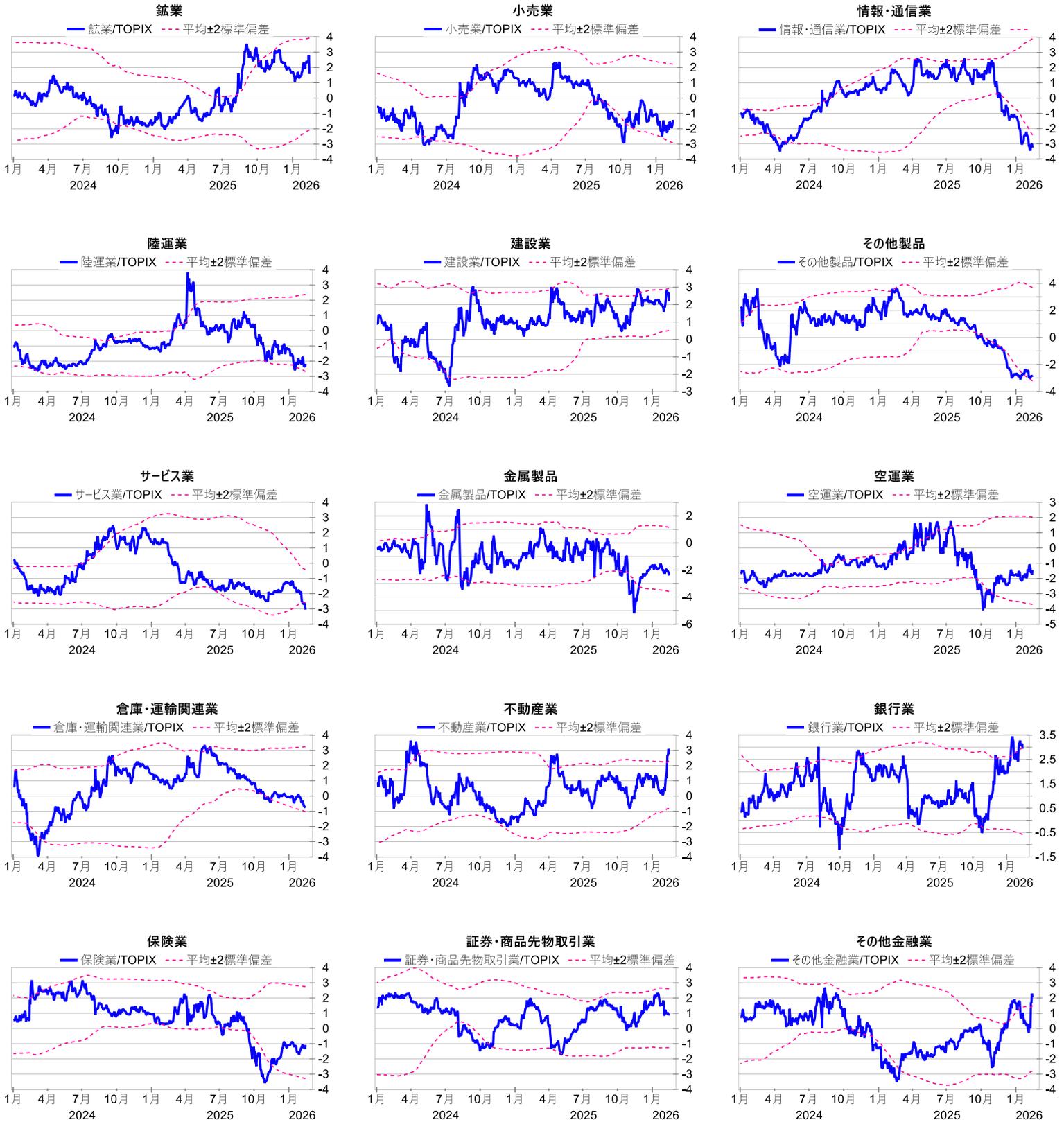
業種別相対株価動向



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



医薬品



食料品



水産・農林業



電気・ガス業



注: 250 営業日のデータを使って標準化した  
出所: Bloomberg、マクロポンド

■スタイル別相対株価動向

TOPIX/SP500



NT倍率



TOPIX500/TOPIX Small



TOPIXバリュ- / TOPIXグロース



日経内需50/日経外需50



注: 250 営業日のデータを使って標準化した  
出所: Bloomberg、マクロポンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

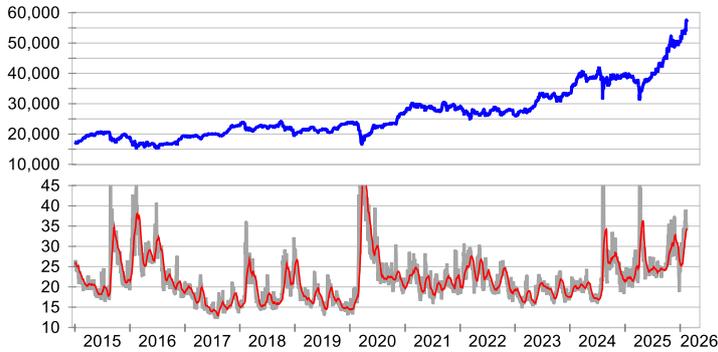
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



■市場センチメント及び株価動向

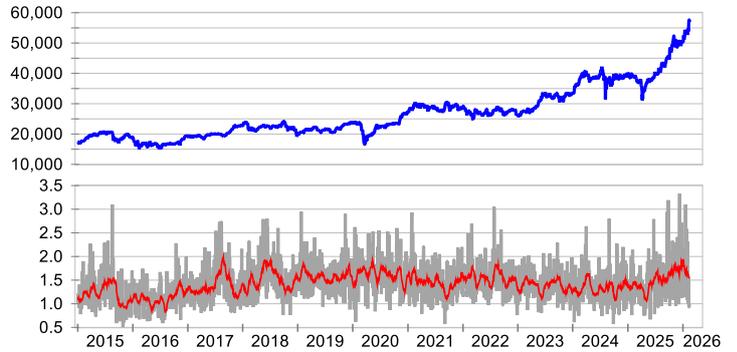
日経VIと日経平均株価

— 日経VI — 日経VI(4週平均) — 日経平均株価



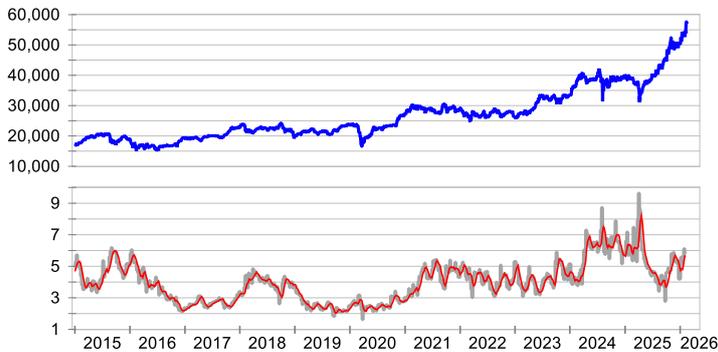
プットコールレシオと日経平均株価

— 日経プットコールレシオ — 日経プットコールレシオ(4週平均) — 日経平均株価



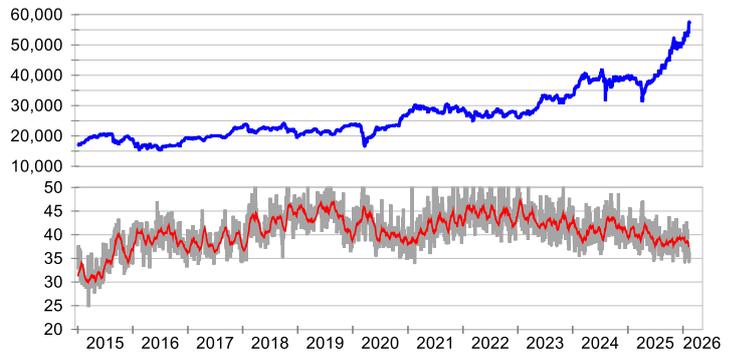
信用倍率と日経平均株価

— 信用倍率 — 信用倍率(4週平均) — 日経平均株価



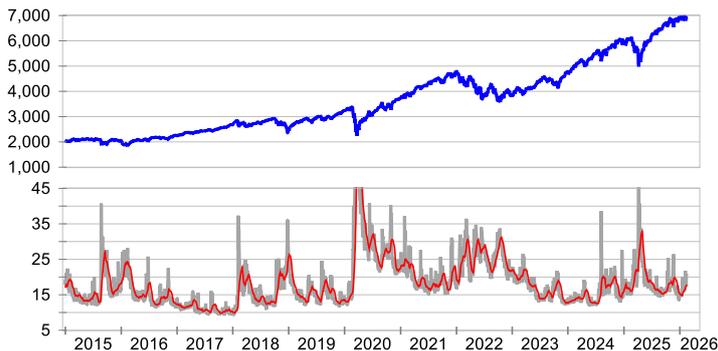
空売り比率と日経平均株価

— 空売り比率 — 空売り比率(4週平均) — 日経平均株価



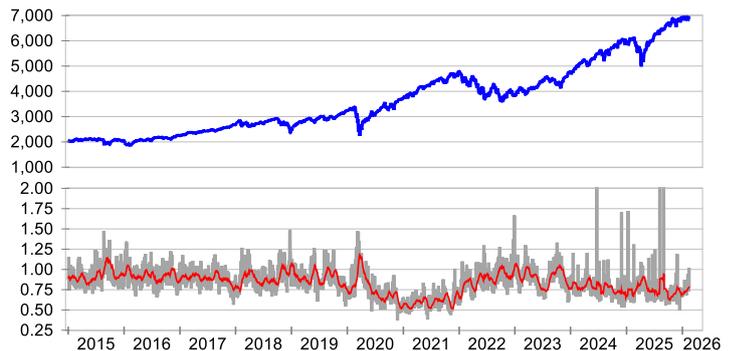
VIX指数とSP500

— VIX指数 — VIX指数(4週平均) — S&P 500種



プットコールレシオとSP500

— プットコールレシオ — プットコールレシオ(4週平均) — S&P 500種



出所: Bloomberg、マクロポンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
280	2025/10/10	半導体, 日本株, 米国株	<a href="#">10月半導体市場及びハイテク株動向</a>
281	2025/10/10	日本株	<a href="#">日本株需給(9月29日～10月3日)</a>
282	2025/10/16	豪州経済	<a href="#">25年10月豪州概況</a>
283	2025/10/20	日本株	<a href="#">日本株需給(10月6日～10月10日)</a>
284	2025/10/24	日本株	<a href="#">日本株需給(10月14日～10月17日)</a>
285	2025/10/30	米国経済	<a href="#">10月FOMCとマーケット環境の整理</a>
286	2025/10/31	欧州経済	<a href="#">ECB&lt;欧州中央銀行&gt;理事会</a>
287	2025/10/31	日本株	<a href="#">日本株需給(10月20日～10月24日)</a>
288	2025/10/31	欧州経済	<a href="#">25年第3四半期ユーロ圏GDP統計</a>
289	2025/11/4	欧州経済	<a href="#">25年10月ユーロ圏物価動向</a>
290	2025/11/4	日本株	<a href="#">日本株10月レビューと11月見通し</a>
291	2025/11/5	米国株, 米国経済	<a href="#">11月ISM製造業景況感指数と米国株見通し</a>
292	2025/11/11	日本株	<a href="#">日本株需給(10月27日～10月31日)</a>
293	2025/11/14	日本株	<a href="#">日本株需給(11月4日～11月7日)</a>
294	2025/11/14	半導体, 日本株, 米国株	<a href="#">11月半導体市場及びハイテク株動向</a>
295	2025/11/14	豪州経済	<a href="#">11月豪州概況</a>
296	2025/11/20	半導体, 日本株, 米国株	<a href="#">エヌビディアの決算 FY2026 3Q</a>
297	2025/11/21	米国経済	<a href="#">9月米雇用統計</a>
298	2025/11/21	日本株	<a href="#">日本株需給(11月10日～11月14日)</a>
299	2025/11/25	欧州経済	<a href="#">25年第3四半期ユーロ圏賃金動向</a>
300	2025/11/26	米国経済	<a href="#">米国消費関連指標とマーケット見通し</a>
301	2025/11/28	コモディティ	<a href="#">25年10・11月WTI原油先物価格</a>
302	2025/11/28	日本株	<a href="#">7-9月期決算集計と日本株ストラテジー～日経平均株価は25年度に6万円に達する可能性もあろう</a>
303	2025/12/1	日本株	<a href="#">日本株需給(11月17日～11月21日)</a>
304	2025/12/1	日本株	<a href="#">日本株11月レビューと12月見通し</a>
305	2025/12/3	欧州経済	<a href="#">25年11月ユーロ圏物価動向</a>
306	2025/12/5	日本株	<a href="#">日本株需給(11月25日～11月28日)とWeeklyデータ集</a>
307	2025/12/11	コモディティ	<a href="#">25年12月豪州概況</a>
308	2025/12/12	米国経済	<a href="#">12月FOMCとマーケット環境の整理</a>
309	2025/12/12	日本株	<a href="#">日本株需給(12月1日～12月5日)とWeeklyデータ集</a>
310	2025/12/15	半導体, 日本株, 米国株	<a href="#">12月半導体市場及びハイテク株動向</a>
311	2025/12/15	欧州経済	<a href="#">2026年の日本株ストラテジー</a>
312	2025/12/17	米国経済	<a href="#">11月米雇用統計</a>
313	2025/12/19	欧州経済	<a href="#">ECB&lt;欧州中央銀行&gt;理事会</a>
314	2025/12/19	日本株	<a href="#">日本株需給(12月8日～12月12日)とWeeklyデータ集</a>
315	2025/12/19	日本株	<a href="#">円金利の上昇が日本株に与える影響</a>
316	2026/1/5	日本株	<a href="#">日本株12月レビューと1月見通し</a>
317	2026/1/7	日本株	<a href="#">日本株需給(12月22日～12月26日)とWeeklyデータ集</a>
318	2026/1/8	欧州経済	<a href="#">25年12月ユーロ圏物価動向</a>
319	2026/1/8	米国株, 米国経済	<a href="#">2026年1月ISM景況感指数と米国株見通し</a>
320	2026/1/9	日本株	<a href="#">日本株需給(12月29日～12月30日)とWeeklyデータ集</a>
321	2026/1/13	米国経済	<a href="#">12月米雇用統計とマーケット環境の整理</a>
322	2026/1/14	日本株	<a href="#">衆議院解散と日本株への影響</a>
323	2026/1/16	半導体, 日本株, 米国株	<a href="#">2026年1月半導体市場及びハイテク株動向</a>
324	2026/1/19	日本株	<a href="#">日本株需給(1月5日～1月9日)とWeeklyデータ集</a>
325	2026/1/23	日本株	<a href="#">日本株需給(1月13日～1月16日)とWeeklyデータ集</a>
326	2026/1/29	米国経済	<a href="#">2026年1月FOMCとマーケット環境の整理</a>
327	2026/1/30	日本株	<a href="#">日本株需給(1月19日～1月23日)とWeeklyデータ集</a>
328	2026/2/2	欧州経済	<a href="#">25年第4四半期ユーロ圏GDP統計</a>
329	2026/2/2	日本株	<a href="#">日本株2026年1月レビューと2月見通し</a>

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。